

# 2015年度第2四半期決算説明会

---

**株式会社 やまねメディカル**

2015年11月

# 本日のプログラム

- I. 2015年度上期(第2四半期累計)決算概要
- II. 2015年度上期の総括と下期の事業戦略
- III. 2015年度通期業績予想と配当計画

# I . 2015年度上期(第2四半期累計)

## 決算概要

# (1) 2015年度上期(第2四半期累計)損益概要

(単位:百万円)

	2014年度上期 (連結)	2015年度上期 (連結)	増減率(%)
営業収入	3,077	3,925	27.5
営業利益	△571	△375	—
経常利益	△586	△395	—
当期純利益	△416	△376	—



- ① 営業収入は、入居の進捗と施設新設により増収持続。
- ② 利益は、業績改善対策が道半ばのため、減益残存。

## (2) 2015年度 第2四半期(会計期間)損益概要

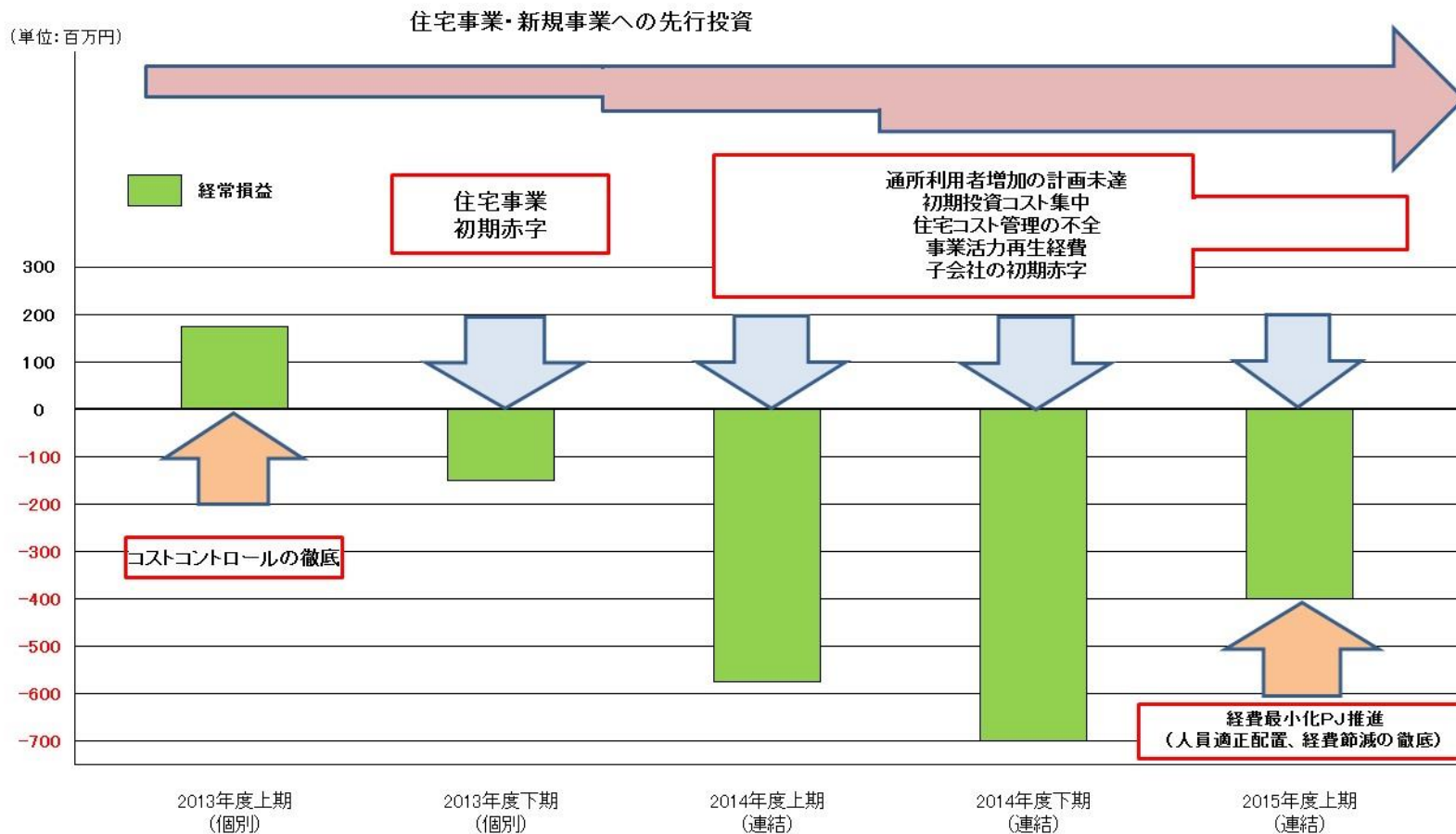
(単位:百万円)

	2014年度第2四半期 (連結)	2015年度第2四半期 (連結)
営業収入	1,611	2,021
営業利益	△264	△32
経常利益	△272	△43
当期純利益	△198	△60

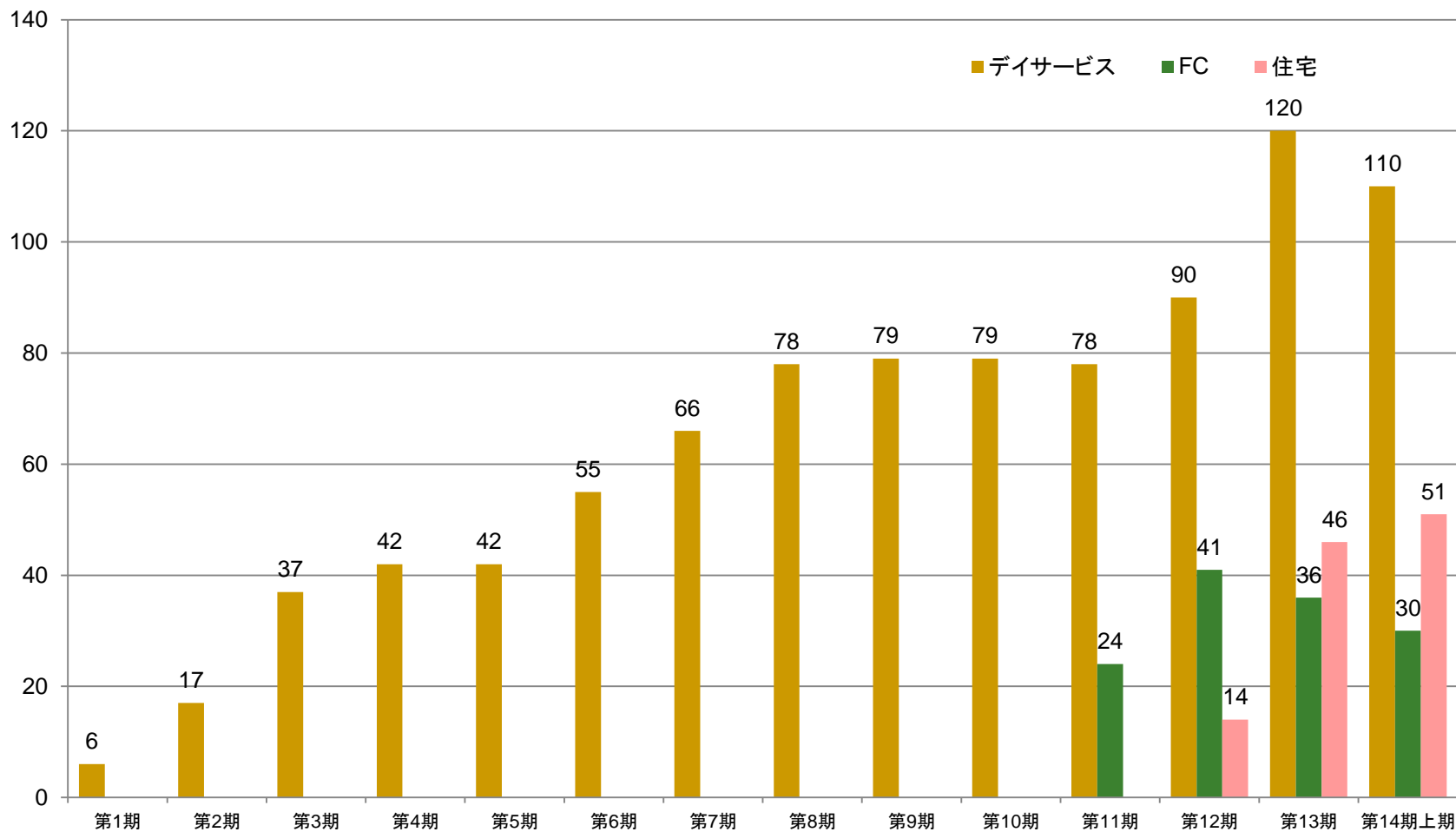


- ① 営業収入は、入居の進捗と施設新設により増収持続。
- ② 第2四半期会計期間の損失幅は顕著に縮小。

# (3) 経常利益の推移



## (4) 施設数の推移



# (5) 比較貸借対照表

(単位:百万円)

	2015年3月 (連結)	2015年9月 (連結)	増減		2015年3月 (連結)	2015年9月 (連結)	増減
現金預金	878	280	△598	短期金融負債	1,330	1,378	48
営業未収入金	1,107	600	△507	その他	788	625	△163
その他	258	413	155	流動負債計	2,118	2,003	△115
流動資産計	2,243	1,293	△950	社債	174	174	0
有形固定資産計	749	693	△56	長期借入金	1,436	1,027	△409
無形固定資産計	17	23	6	その他	243	277	34
投資その他資産計	1,222	1,356	134	固定負債計	1,853	1,478	△375
固定資産計	1,990	2,073	83	負債合計	3,972	3,481	△491
				資本金	304	304	-
				剰余金等	△44	△419	△375
				株主資本計	260	△115	△375
				純資産合計	262	△114	△376
資産合計	4,234	3,367	△867	負債純資産合計	4,234	3,367	△867



## (6) キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

	第2四半期 連結会計期間(第13期)	第2四半期 連結会計年度(第14期)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	△536	△98
税引前純利益	△600	△422
減価償却費等	50	54
売上債権の増加額	△169	353
未払金の減少	92	△41
法人税等の支払額	10	△16
その他	81	△26
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△187	△98
(フリー・キャッシュ・フロー)	△723	△197
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	502	△399
IV 現金及び現金同等物の増加額	△221	△597
V 現金及び現金同等物の期首残高	1,719	878
VI 現金及び現金同等物の期末残高	1,498	280

# Ⅱ. 2015年度上期の総括と 下期の事業戦略

# (1) 成長の第2ステージの現状

## (1) これまでの成長戦略の基本方針

「高い成長実現ために必要なリスクは敢えてとる」

“Nothing ventured, nothing won.”

## (2) それによって今回顕在化したリスクとその対応

### ① 新事業黒字化の遅延と試行錯誤

①住宅事業ノウハウの欠除 → 一定の期間を要してノウハウを獲得蓄積

②デイ事業環境(需給と報酬)の想定以上の悪化

→ 顧客創造のための新たな仕組みを構築中(事業多角化のシナジー)

### ② 新規事業の大きな赤字継続による業績の急速な悪化

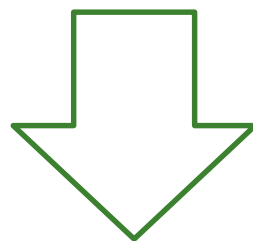
→ 8月から黒字転換実現し改善途上

### ③ 資本不足と財務の悪化

→ 業績改善による財務改善目指す

## (2) 新事業への取り組みの背景

高齢社会の急速な進行と財政悪化に伴う新たな社会保障の仕組みの構築への社会的ニーズの高まりと「地域包括ケアシステム」という新たな基軸政策の誕生



それを支える「新たな事業モデルの考案と普及」を  
当社の“成長の第2ステージ”を担う新事業として  
全力をあげて取り組む

### (3) 報酬改定の影響

(改定前の期待)

“次期改定は追い風へのターニングポイントとなる”



(結果)

- (1) 介護費用の減額以外大きな変更(追い風)はなし
- (2) 前期からの準備は奏功せず(経費負担増大が裏目)



(対応)

第一四半期中に人員配置の調整等改定への対応はほぼ終了

## (4) 上期総括(期初事業戦略の進捗状況)

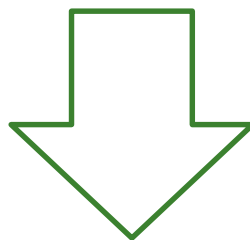
- (1) 通所介護事業の立て直し  
→ 未だ実現せず
- (2) 抜本的な経費削減  
→ 想定以上の時間を要し現時点で道半ば
- (3) 黒字転換急ぐ(7月目標)  
→ 8月黒字転換実現
- (4) さらなる業容拡大を目指す  
→ 施設開発は減速、事業多角化は推進

## (5) 下期の事業戦略

- (1) 抜本的な経費削減の推進
- (2) 高齢者住宅入居の加速
- (3) 通所事業の立て直し
- (4) 事業の多角化(在宅事業,子会社事業)推進
- (5) 業績改善による財務とキャッシュフローの改善

## (6) 抜本的な経費削減の推進

- (1) 人員適正配置の推進
- (2) コストコントロールと質素儉約の徹底
- (3) 本社オペレーションの効率化(小さな本社へ回帰)



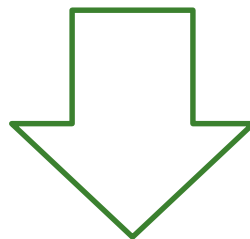
減速するも下期中に完了の予定



## (7) 住宅事業の推進

(1) 下期11施設開設予定(上期5施設開設)

(2) 営業強化により入居率増加目指す



目標:期末90%(上期末約80%)

## (8) 通所介護事業の立て直し

### (1) 通所介護の運営方針の修正

- ① 4月改定への対策と準備は改定内容と相容れず
- ② 人員配置の適正化推進
- ③ 他事業とのシナジーを目指す

### (2) 通所介護統廃合推進

上期15施設を実行、下期3施設実行計画

## (9) 事業の多角化推進

### (1) 在宅事業

訪問介護・訪問看護・居宅支援事業等推進中

### (2) フード事業

下期から黒字転換見込み、業容拡大推進中

### (3) 建築事業

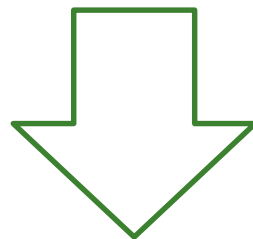
来期から介護施設建設等着工予定

### (4) その他事業

現在休止中 → 業績回復を待って再開予定

# (10) 業績改善による財務とキャッシュフローの改善

下期からの業績改善と利益蓄積の推進



- (1) 債務超過の解消
- (2) 資金繰りの改善
- (3) 成長戦略の継続

# Ⅲ. 2015年度通期業績予想と 配当計画

# (1) 2015年度下期及び通期業績予想数値

(単価:百万円)

	上 期	下 期	通 期
営 業 収 入	3,925	4,075	8,000
営 業 利 益	△375	410	35
経 常 利 益	△395	395	0
当 期 純 利 益	△376	376	0

## (2) 配当計画について

業績回復実現まで無配の方針

- 本資料は、我が国において一般に公正妥当と認められた会計原則に基づき作成された2016年3月期第2四半期の業績、並びに2016年3月期の予想業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料に掲載されている事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。本資料は、2015年11月20日現在のデータに基づき作成されております。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落・誤謬等につきましてはその責を負いかねますのでご了承ください。
- 本資料は将来の予測等に関する情報を含む場合がありますが、これらの情報はあくまで当社の予測であり、その時々状況により変更を余儀なくされることがあります。なお、変更があった場合でも当社は本資料を改訂する義務を負いかねますのでご了承ください。
- 本資料のいかなる部分も一切の権利は株式会社やまねメディカルに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。